駿河の昆虫　投　稿　規　定

【投稿】

会員は昆虫に関する未発表の報文を投稿することができる。非会員の場合は少なくとも共著者 1 名は会員であること。

【投稿の内容】

分布調査の報告等において対象とする地域は原則として静岡県、隣接県及び伊豆諸島・小笠原諸島までとする。また、以下については掲載しない。

① 海外における調査の報文（当会の海外昆虫調査報告書「ゴシュケビッチ」に投稿を勧める）

② 会則 7 条に抵触する内容が含まれる報文（法令違反・自粛すべき記録内容）

③ 紀行文

【原稿の種類】

短い報文は原則として“インセクトノート” にまとめて掲載するが、紙面のスペースの都合等による場合にはこの限りではない。

【原稿の書き方】

1. 原稿は電子データとして MS-Word で作成することを原則とする。著者本人が不可能な場合は他の会員等に依頼して電子データとして作成する。B5 判用紙サイズで横書き、1 ページ 37 行、1 行 45 字、本文の字の大きさは 9 ポイント、MS 明朝とし、表題は 14 ポイント、著者名は 12 ポイントとし、表題と著者名で 5 行分とする。
2. おおむね 1 印刷ページ程度の短い原稿の場合は、手書きで原稿用紙もしくは郵便はがきを使用してもよい。
3. ことばづかいは現代かなづかいとし、“である調”を原則とするが、著者が小学生などの場合にはこの限りではない。句読点は全角カンマ（,）全角ピリオド（.）を使う。
4. 標題は本文との文言の重複を避け、内容を簡潔に表現したのものとし、極力 1 行に収まるようにする。
5. 図版は鮮明なものとする。刷り上がりよりやや大きめの図版（1.2～1.5 倍程度）を作成することが望ましい。
6. 写真は同定のため、あるいは分布・生態記録のため必要と思われる最小限の枚数にする。
   ただし、編集委員会の判断で掲載しないこともある。解像度を下げていない電子データ、もしくは CD に保存したもの、あるいは L 判などにプリントしたもので、鮮明なものに限る。Word に貼り付けた写真は解像度が低い可能性があるので避ける。
   カラー写真にするか否かは本人の意向をもとに編集委員会で決める。なおカラー写真を掲載した場合は、白黒写真と比較して余分にかかった経費の 1/2 を著者が負担する。
7. 採集報告における採集・目撃記録の書き方は原則として次による。ただし、短報は下記例によらなくてもよい。
   和名半角空け学名全角１字空け採集地名半角カンマ採集年月日半角カンマ採集・目撃頭数全角ピリオド

・学名で行替えしてもよい。データが複数になる場合は　；(ｾﾐｺﾛﾝ)で続ける。

・♂♀の区別のできないときは〇頭、又は ex.（複数は exs.）とする。

・種の学名は和名の後に斜体で、原則として種小名まで記載する。ただしチョウについては省略することができる。

・分類群によっては科名とその学名を記載する。

・静岡県の場合、静岡県と郡は略し市町名＋採集地名（区大字・小字・その他地名や標高など）

・他県の場合、県名を入れ、以下は静岡県内の場合と同じ。

・採集年月日は次の例のように統一する。㊐2018 年 6 月 23 日（元号、ローマ数字は使わない。年、月、日の順）

例 1（県内の記録の場合）：○○カミキリ 学　名　静岡市葵区梅ヶ島・六郎木, 2018 年 8 月 3 日, 2♂3♀(1♂)[1♂鈴木英文採集]. なお、目撃記録は（　　）書き、著者以外の採集個体が含まれる場合は[半ｶｷﾞｶｯｺ]で頭数と採集者を書く。

例 2（標題に種名がある場合）島田市川根町家山・大井川堤防右岸, 2018 年 5 月 3 日, 2♂3♀.

例 3（県外の記録）：モンシロチョウ　山梨県市川三郷町岩間・○○神社, 2018 年 7 月 21 日, 2♂3♀.

8. 1 号に掲載する 1 報文の長さの上限は、おおよそ 15 ページ（印刷ページ）とし、これ以上長い報文の場合は 2 回以上に分割して掲載する。

9. 引用文献は本文で直接引用したものだけを記載し、書き方は次による。

[雑誌の場合]

発表者名・発表者名, 発表年. 表　　題. 雑誌名号数：掲載ページ○-○.　太字　全角コロン

例①　駿河太郎・青井静子, 2020. 静岡市における○○の生態. 駿河の昆虫 **270**：7100-7105.

全角コンマ　全角ピリオド　全角ピリオド　半角ハイフン　全角ピリオド

例②　　省略　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・昆虫と自然 **47**（6）：2-3.

太字

[書籍の全部の場合]

著者 A・著者 B, 発行年. 原色日本蝶類生態図鑑Ⅲ. 373pp(総ページ数). 保育社, 大阪.

[書籍の一部の場合]

著者, 発行年. 書籍名. ○○学会編, 表　　題, pp. 56-69（掲載ページ）. ○○出版, 東京.

・掲載順序は、あいうえお順とする。又、同じ著者の文献が複数の場合は暦年順とする。

【原稿の送付方法と送付先】

電子メールで下記編集担当者あるいは当会のホームページあてに送信（CD、プリントした写真および図版などは郵送）する。なお、原稿は随時受付ける。

【原稿の修正】

原稿・図版等の修正・変更が必要な場合は著者の同意を得て変更することができる。ただし軽微な変更は編集委員会で修正することがある。

【原稿等の返却】

写真および図版等は原則として返却しない。ただし、CD、USB メモリー及び原図などの返却を希望する場合はその旨編集担当者に連絡する。

【別刷の作成】

著者が希望する場合には作成することができる。実費を著者が負担する。

【編集委員会】

編集委員長、編集委員および分類群の専門家等で構成する。

編集委員長：清　邦彦

編集委員：鈴木英文　平井剛夫　白井和伸　池谷　正（発行号順）

【原稿の送信・郵送先】(編集委員の住所は駿河の昆虫 262 号を御覧ください)

① 鈴木英文：

② 平井剛夫：

③ 白井和伸：

④ 池谷　正：

⑤ 投稿用 E メールアドレス　pu-suruga@shizukon.sakura.ne.jp

1982 年 11 月 30 日制定

2018 年 6 月　1 日改正